加東市における剣道授業実践紹

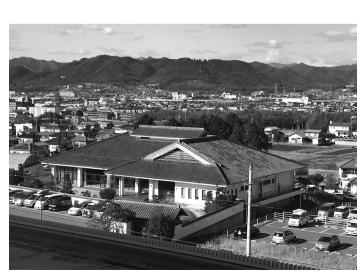
加東市教育委員会

また加古川などの河川に沿って河岸段丘と沖積平野が形成されており、 にかけて、中国山地から連なる御嶽山、源平古戦場三草山、五峰山などがあります。 加古川右岸には青野ヶ原の丘陵地が広がっています。 兵庫県中央部やや南よりに位置し、 総面積157・ 55 km² 北部から北東部 南部に嬉野

村が合併して東条町が誕生(昭和30年) 法が施行され、社町、 明治22年の市町村制の施行により、 賀茂村、 滝野町、 上東条村、 賀茂村が合併して滝野町が誕生(昭和29年)、上東条村、 福田村、 中東条村が誕生しました。昭和28年には町村合併促進 上福田村、米田村、鴨川村が合併して社町が誕生(昭 社 村、 Ļ 福田村、 加東郡は3町に再編されました。 上福田村、米田村、鴨川村 中東条

そして、平成18年3月20日、社町、滝野町、 い歴史をスタートさせています。 文化よし! 夢がきらめく☆元気なまち 加東」の実現のため 東条町は合併して加東市となり、

民も出てきています。 在では発足当時の少年剣士らが指導者となり、 剣道においては、 最近では、 旧社町で少年剣道の指導が始まり、 中学校の部活や授業で剣道に触れ、 昭和45年ごろから、久保善昭氏(現加東市剣道連盟会長)らを また、 他市から稽古に来られる方が増え、 滝野、 少年剣道の指導を継続しています。 社会人になってから道場に通う市 東条地域へと広がりました。 初心者から高段者



山 現

加東市立武道館

ため、 会に参加し、 実施できるように整備しました。 購入、全ての中学校で剣道授業が 中学校に剣道具、竹刀を40セット の武道必修化に伴い、 を行っています。 究会という組織をつくり授業研究 附属中学校1校、 授業を実践してきました。 が中学校武道(剣道)指導者研修 育科の教員が加東市中学校体育研 また、 加東市は、 市内全ての保健体育科教員 教員の指導力向上を図る 各学校で武道の研究 市立3中学校、 平成24年度から 計4校の保健体 市の予算で

> た剣道授業実践の1つを紹介させ ていただきま 今回は、これまで取り組んでき



しての効果が示唆されました。 を通じたメンタルマネジメント を検討した直原・藤井・幸田・野 徴の変化と競技面への適応可能性 道における礼法指導後の心理的特 が高いことが報告され、 属群よりも自己効力感や情動知能 では、運動部所属群は非運動部所 を検討した西垣・吉川(2005) らす自己効力感と情動知能の発達 する指導を継続することで、 村 (2004) では、 その自己効力感と情動知能の 中学生の運動部活動経験がもた 礼法を重視 中学生剣 年間

学ぶ中学生との違いが、 校適応感で他の領域の運動種目を が期待されます。 己を律する態度の形成とその発達 導の大きな課題となってい 学習の武道指導の中で求められて を通して、社会性や規範意識、 心身の発達が著しい中学生の時期 な心身の発達や人格形成が生徒指 礼節を重んじる剣道を学ぶこ 相手への思いやりや自 適切な情動制御 保健体育 、ます。 学

考えられます。 性は、多様な側面で日常生活の基 重視した実践の中で養われた自律 本となる学習集団の中でも統制さ えられます。また、 の中でも影響している可能性が考 達が競技面だけでなく、 れ、学習規律への肯定的な影響が 剣道の礼法を 学校生活

得られた結果をもとに、 ぼす効果について検討することと 道が人格発達や社会性の発達に及 道を学ぶ部活動に焦点をあて、 しました。研究2では、 そこで、研究1におい 研究1で ては、 剣

研究主題・ 研究の視点

2

○剣道が中学生の学習規律の形成 に及ぼす影響に関する研究

り、

いじめが大きな社会問題とな 中学校現場では、 生徒の健全

月刊「武道」 2018. 2

137

1学年13時間の単元計画の学習展

学習

を使

(全日本剣道連盟、

2

<u>0</u> 9

第

道授業において、

礼法を重視

た

用し実施しました。 開を基本として、

【結果・考察】中学校1年生の剣

【授業実践】『剣道授業の

展開』

に13時間の単元計画で実施しまし 学級の剣道授業実践後に同じよう

【調査内容】「中学生の学習規律

1

間指導計

効果を検討し、

中学校の武道必修

としました

グラム実践を行

授業での

化の有効な資料を得ることを目的

動を行うことは、

部活動を離れた

研究実践

3

【目的】部活動に焦点を当て、 研 究 1 (調査研究)

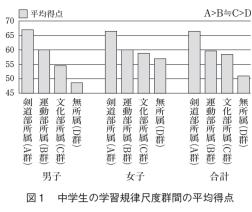
191 名

女子198名) 各学校の剣道部

3年生89名

(男子

学ぶことで他の種目との差異が見 学生の発達段階において、 られるの 【方法】研究協力者は、 か検討しました。 兵庫県内 剣道を 中



級が協力者となり、剣道部所属(A 3年生及び抽出された3年生1学 しました。 運動部所属)(B群)、文化部 剣道部以外の運動部所属 (C群)、 無所属 $\widehat{\mathbf{D}}$ 群)

7月下旬 【調査期間】 平

【調査内容】「中学生の学習規律

影響について、 っていることがわかりました 体的な学習規律得点が最も高くな 【結果・考察】 中学生の時期に剣道部に所 武道の礼法を重視 学習規律に及ぼす 剣道部所属群の全 L た決ま **図**

> た可能性が考えられます。 学習の場においても影響を及ぼし

[2] 研究2 (授業実践)

0) 業の展開』 として作成した剣道教本 道連盟が学校現場での活用を目的 剣道学習において影響が見られる の影響を検討した学習規律につい 【目的】研究1で剣道が中学生 かという点について、 武道必修化における体育科の (全日本剣道連盟、



を用いた体育授業を展開 全日本剣 『剣道授 2

议

成24年6月 下 旬

尺度」

りに則って、 仲間と共に自 主的活

> 手教員が、 業実践は、若手教員の指導力向上検討することとしました。この授 にどのように影響を及ぼすのかを 業を見てから授業ができるように 研修を兼ねて、 しました。 生徒の学習規律と学校適応感 、剣道経験者の教員の授ねて、剣道経験のない若

名。 た。 間実施してから剣道を学習しまし 剣道を13時間実施し、 は剣道未経験の教員が実施し 7段の経験者、 (陸上→剣道) 上競技を学習しました。対照群 1年生2学級 【方法】研究協力者は、 介入群の剣道授業は剣道教士 介入群 (剣道→陸上) は、 (男子 は陸上競技を13時 対照群の剣道授業 20 名、 その後に陸 女 子 23 中学校 まし

の間、 元の最終授業後に実施しました。 目の前に実施、 調査は本単元が実施された1時間 技)の授業を実施しまし 【調査期間】平成24年10 13時間の単元計画で実施、 対照学級は他領域 事後調査は本単 た。 (陸上競 月 から 事前 そ



か、 面で、 には、 組みをすることが方法とし 習期間が過ぎるとその影響は維持 されました (図2)。 習規律に影響を及ぼすことが示唆 剣道を学習することによって、 られます されませんでした。 剣道学習以外の学校生活 武道の礼法を活用した取り 長期的な学習計画を立てる 維持するため しかし、 て考え の場 学

ています られました。 ることで、 をしても、 材として効果的であることを示 本剣道連盟、2009)を活用す 教本 剣道未経験の体育教員が指導 『剣道授業の展開』 学習規律への影響が見 剣道の経験者はもちろ 剣道が武道領域の教 (全 日

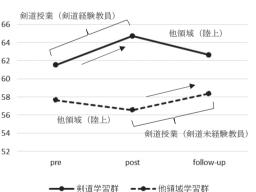
follow-up 調査は、

介入学級の他

(陸上競技)

授業後及び対照

武道必修化においては、 け 育む貴重な学習場面となります。 にとどまらず、 み、実践することが求められます を育てる指導は、 でなく学校全体として取り 剣道を指導する際、 自己を律する態度 「生きる力」を 技能の習得 体育科だ





研究を踏まえた効果的な取組

徒会活動とも連携 規律への効果が期待されます。 な につなげることができまし 点検活動等により学習規律の 的に学習することで、 できるよう工夫しています。 がり 剣道学習が年間を通じて展開 を学びながら実践 し、 生活へのつ 呼びかけや i た

画を作成する 長期 向上 学習 生 作成は、自分の名前をレター ができました。 とで学習規律の効果を高めること での学習を日常の生活に生かすこ 業時のあいさつ、姿勢など、 体として取組をすすめました。 の教職員にも理解を得て、 [2] 武道必修化の意義を他教科 で丁寧に書き、 美術での ゼッケン ゼ 学校全 ツ 武道 リン ケン 授

139

月刊「武道 | 2018. 2

2018. 2 月刊「武道|





業で電子黒板やタブレッ

これらの取組以外にも、

武道授

を活用

5

審判法の学習

ちをコントロー なげています。

ルできるように木

刀を使用した「木刀による剣道基

本稽古法」を学習し、

お互いに

揮できるように学習をすすめまし 気の中で、 評価をするなど、張り詰めた雰囲 た。木刀による授業により、 がより認識するようになりま の良さや他の種目との違いを生徒 自分の力が最大限に発 武道



貫校が開校します。

小中9年間を

見通した系統性のある指導を行う

教科カリ

キュラムの作成

141

年ごとに全ての中学校区で小中

加東市では、

平成33年度より3

ICT を活用した剣道授業。電子黒板を使用し、自分の打突の動きを分析したり、 友達と比較したり、課題を確認すること ができた



剣道具を使用しない「木刀による剣道基本稽古法」。静かな雰囲気で、心を落ち着かせて集中するこ と、場の雰囲気を大切にした授業をすすめた

剣道の特性を生か

は、 えています。 れた学習を検討していきたいと考 育では学習しない武道学習につい を実施しています。 中学校教員による出前授業など すめていますが、 球技や器械運動などを中心に 礼法等の武道の要素を取り入 体育において 小学校の体

活用したりして、深い学びへとつ

3年生では、

グループでの話し合い活動に 構えの姿勢などを確認した

携を図り、 を踏まえた効果的な武道学習を研 今後は、 小中9年間の発達段階 小学校の体育学習と連

を守り、 育てられるように授業研究に努め 手を尊重し、伝統的な行動の仕方 した効果的な学習指導により、 いきたいと思います 自分で自分を律する心を

1学年 保健体育科 年間指導計画 週3時間の例 1学期 2学期 3学期 保健 保健 保健 保健 礼法 水泳 武道 入学時には、武道の授業で 活につなげています 剣道 剣道 剣道 2 体育 集団 行動 陸上・球技 水泳 ダンス 球技・器械運動 陸上•球技 3 体育

美術の授業でゼッケンを作成

指導を行い、

簡易試合までできる

されるように学習ノー

トを活用

た指導を行っています。

- の活用

目標を明確にし、学校生活へ生か

ように授業を展開しました。

学習

②審判法の学習 載せ、 業のめあてや技能のポイント等を かすため、 標が最初から載せてあり、 ようにしました。 用しました。学習ノートには、授 すめやすくなりました。 もちろんのこと、教員も授業がす の内容に合わせ、 学習の振り返り、日常生活に生 授業の最後に振り返りを書く 自分で確認ができるように 毎時間学習ノー 毎時間の学習目 単元計画13時間 生徒は を使

審判員として重要であり、 たりします。 いきしたり、 なってきます。 審判員としての勝敗判定は難しく 瞬時に判定し意思表示をする

普段、教室の学級集団の

で

人間関係ができるため、

中学 中

有分かとしかり削えるとし、前口かるみるとん。 今間におかり、 13 が後々れるを与るとり、 巻きしたかべりることでし、



学習ノートを活用することにより、授業 のめあてや技能のポイント等を自分で確 認できるようにした

48ne	# (火) 脚を十分に伸ばし、	姿勢を崩さす	に打とう		
7848	(動体 - 数の向けら、利 つばせるといの収集を表 のばぜるかいからの引き (本限金、引き後で行う の余編書、顕統よりもが	用する。 食で確何を行う			
ROME OF	trest Bib	Lese Cu	26207	0.020	
①前編へ入るとさの	Monteces		8 .	c	
②和手に対して正しく乱ができた			В	c	
③ にしい姿勢が意味できた		0.	ъ .	c	1
(0大きな声で取り組めた		10 .	п.	C .	10
の保険的に取り用れた		6 -	3 .	e	1
(大会に気をつけて	4名でお年	-0	в -	C	-
5件刀・木刀を正し	(8)250000	a .	в .	c	136
BEREZY KING	ARTER	1 /	6		1
H (78) /021	ントの理解できた	0/.	В	c	1/
DAMOLERAT	CONTRACTOR .	6.	8	0	1(CA
* Swally	Duther The La				
四百二百十	- de la companya del la companya de			是乙位医	223
女産も年の	1/6011-1	1. 6 th 50 23	10,112	balex 13	大きのから
The same	K ERE LTO	1			134
0-1-00	· = # = 17.1	3 Today	K 1-9	000	117

日本剣道連盟、2009) を活用

13時間の単元計画を重視した

[3] 教本『剣道授業の展開』(全



生の時期には、 「公平無私」になることが 剣道部員を有利にし 判定基準を明確に 仲の良い友達をひ 剣道の判定試合の 集団へと成長していきました。 に注意し、その注意を認められる 関係に左右されず、 室内での規範意識を高める要因に がっていきました。 なってきたように感じます。 **人の友達を大切にすることにつな**

この審判員の正

しい

判断は、

月刊「武道 | 2018. 2

人間

間違ったこと

間使用することで、美術の授業の

取り組みも良くなりました。